

# さくらサイエンスプラン 台湾の高校生がスキルスラボ体験型研修

2018年10月25日、さくらサイエンスプランにて留学中の台湾の高校生たちが東北大学の医学系研究科を訪問しました。高校生たちは、始めに生体システム生理学分野の虫明元教授の講義を受け、その際にスキルスラボがどのような施設なのかについて概要を知ってもらったのち、スキルスラボに移動しシミュレータの体験型研修を実施しました。

シミュレータ体験では、4階と3階の2グループに分かれ、4階は麻酔科の吾妻俊弘先生に、3階は総合外科の井本博文先生にそれぞれご担当いただきました。吾妻先生には、HPSシミュレータを使用して、手術の際にどのように麻酔をかけるかについてご説明いただき、見学者たちにビデオ喉頭鏡やマックグラスを使用しての気管挿管の体験をしてもらいました。井本先生には、ラパロ手術についてご説明いただき、見学者たちにはラップコーチャーを使用した小豆拾いの体験をしてもらいました。どちらの体験でも、受講者の皆さんは夢中になっており、短いながらも充実した見学会となりました。

